



日・イタリア共同声明（概要）

令和8年（2026年）1月
外務省欧州局欧州第一課

1 日伊間の新たなパートナーシップ

- 2026年の日伊外交関係樹立160周年の機会に、日伊アクションプラン（2024-2027）の下で発展してきた幅広い協力を総括。あらゆる分野における両国の関係をますます拡大していくため、両国関係を「戦略的パートナーシップ」から「特別な戦略的パートナーシップ」へ再定義。

2 分野横断的協力の深化

- 自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の実現に向けた協力継続、FOIPとグローバル地中海の更なる連携促進を確認。本年予定されるイタリア海軍艦船の訪日を歓迎。グローバル戦闘航空プログラム（GCAP）の進展を確認。
- 経済安全保障の確保及びグローバル・サプライチェーンの強靱化の重要性を強調。あらゆる形態の経済的威圧、非市場的政策・慣行及び輸出規制への深刻な懸念を共有。
- 日EU経済連携協定の下での貿易促進や市場アクセス円滑化。AIロボティクス、半導体、バイオものづくり等の先端分野における科学技術協力の一層の促進、ハイテク分野における産業連携、直接投資・貿易フローの拡大推進に向けた協力を確認。
- 宇宙分野における新たな商業、産業、安全保障、科学分野のパートナーシップを促進するため、宇宙協議を開催することで一致。
- クリーンエネルギー、エネルギー安全保障、防災分野における協力進展を歓迎。両国のインフラ事業支援のため、長大橋の建設、運営及び維持管理に関する技術面での協力促進を確認。
- 大阪・関西万博における伊の貢献を評価。GREEN×EXPO 2027への伊の参加を歓迎。

3 国際場裡における協力

- ウクライナ、東シナ海及び南シナ海を含むインド太平洋、中東・アフリカ等の地域・国際情勢について幅広く意見交換。力又は威圧によるあらゆる一方的な現状変更の試みに強く反対する旨を表明。
- 北朝鮮の完全な非核化へのコミットメントを再確認。北朝鮮に対して拉致問題の即時解決を強く要求。
- ウクライナの公正かつ永続的な平和の実現や、ガザの安定化・復興に向けた引き続きの協力を確認。
- アフリカ開発を後押しするためのパートナーシップ強化に向けた共通の取組についても議論。